

問 防災備蓄の生理用品の充実を

答 各自が自助の観点で備えを



鈴木 りつか 議員 無党派

問 生理用品、子ども用・大人用オムツの備蓄状況は。

答 (総務部長) 生理用品約1万個、子ども用オムツ約1千個、大人用オムツ約140個。

問 大人用オムツの備蓄が少ない理由は。

答 基本的に各自が自助の観点で用意する考えのため。

問 今後、大人用オムツの備蓄を増やす予定は。

答 予定はない。

問 備蓄されている生理用品の種類は。

答 ナプキンの雇用サイズ、夜用サイズの備蓄を増やす必要があると考えるがその予定は。

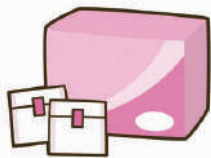
答 今後、導入に向けて検討する。

問 生理用品、オムツの備蓄の入れ替え時期は。

答 目安として製造後3年保存状態を確認し、適宜入れ替えを実施。

問 入れ替え時期が来た用品の利用は。

答 小中学校や保育所、各部署に利活用の要望を確認して配布。



問 引き続き生理の貧困対策を

答 ひとり親家庭への配布を継続

問 コロナ禍で、どのような生理の貧困対策が取られたか。

答 (健康福祉部長) 令和3年7月22日から8月31日までの間、生理用品の購入が困難な女性を対象に、福祉課窓口で無償配布。

問 実際の利用状況は。

答 生理用ナプキン60枚入り1パックを一人1回のみ配布。計75人。

問 問い合わせ、利用しやすさに問題はなかったか。

答 可能な限り利用しやすくなるよう配慮。

問 もっと利用しやすい方法はなにか。

答 昨年度より、ひとり親家庭を対象に女性の人数に応じて配布し、今年度も予定している。

問 1回きりの支援ではなく、継続的な支援策を考えているか。

答 災害用備蓄の入れ替え時に生じた再利用品も活用し、ひとり親家庭に対する配布を継続。

問 学校や市役所など公共施設に設置はできないか。

答 (教育部長) 学校では保健室に備えている。市役所のトイレに配置する考えはないが、総合案内で対応。

